



長岡支所管内より

自分も周りも楽しい農業を

上：山崎 隆弘さん (45)

下：原 三千男支所長

長岡でピーマン部会の部会長を務め、ハウス5連棟で栽培する山崎さん。部会一丸となって生産量を上げるために、病害虫の防除など日常管理を徹底するよう部員に呼びかけています。真面目に栽培に取り組む一方、軽快なトークも得意の山崎さんは、青壮年部として地域のイベントに参加すると、司会者として会場を盛り上げます。

「部員も自分もみんなが楽しい農業をしたい」と話す山崎さん。人の繋がりを大切に、感謝を忘れず地域に根差した姿勢で、JAと二人三脚で頑張っています。



岡豊支所管内より

祖父の鉄釜を受け継いで

土田 美穂さん (61)

大川村で祖父が作る玉緑茶を飲んで育ったという土田さん。大きな鉄釜で手炒りする祖父の姿に、「この伝統を残していきたい!」と、お茶の栽培を始めました。

土田さんが行う鉄釜手炒り製法は、薪を使って鉄釜でお茶を炒る製法で、材料は農業不使用で手間暇かけて仕上げます。「県外の人にも高知のお茶を知ってほしい」と、大学に通ってお茶の成分や効能を勉強。茶葉をティーパックやテトラに入れるなど、飲みやすさを重視します。こだわりのお茶は、アグリコレットや高知龍馬空港などで販売していますよ!



久礼田支所管内より

プロ顔負けの仕上がりです

徳橋 美香さん (73)

これまでにカゴ、バック、スヌード、ベッカバーなど数多くの作品を完成させてきた徳橋さん。細かな刺繍の出来栄はプロ顔負けの仕上がりです。大好きなパッチワークで、何カ月もかけて超大作が完成した時は、達成感があり気持ちいいそうです。

作品は、支所のバザーなどで販売していましたが、コロナ禍の影響で出品する場所や仲間との交流機会も減りました。今年は少しずつ仲間と作品を作る時間が増えたらいいですね!

長岡地区

から こんにちは 今月の 気になる人

峰石原地区待望の子ども

川村 光太郎くん (1)

父：勇太さん (33)

母：愛里さん (30)

子どもがいなかった土佐町峰石原地区で28年ぶりに誕生した光太郎くん。名前は地元で大工をしている祖父（正光さん）からもらいました。大工道具（機械）の大きな音は少し苦手ですが、大工仕事に興味を示す光太郎くんの姿に、「将来は正光さんのような職人になってもらいたい」と、お母さんも成長を楽しみにしています。

最近一人歩きが出来るようになったことで元気に動き回ったり、自分一人でご飯を食べられるようになり、好きなうどんやフルーツ、またおばあちゃんが作るご飯も大好きで毎日元氣いっぱい過ごしています。

れいほく支所管内より



我が家の源

飼い主：長谷岡 勲さん (43)

ペット：ゲンくん (5)

一次産業（農林業）に興味のある方向けに土佐町の魅力をPRし、研修事業のプランニングや移住促進活動を行う長谷岡さん。県外で営業や物流関係の仕事をしていましたが、農業や林業に興味を持ち、5年前に土佐町へ移住。生活環境を新たに、ワイマラナーのゲン君を飼い始めました。

名前は移住をきっかけに新たなチャレンジ、原点、源の意味を込めて命名。大人しい性格ですが、子どもたちと一緒にいる時はしっかりと守りの姿勢を見せるゲンくん。家族にとって大切な存在です。

れいほく支所管内より



5 南国市地域

葉ニンニク目慣らし会



出荷規格を確認する生産者

南国市園芸部葉にんにく部は11月13日、南国市の南国南部集出荷場で葉ニンニクの目慣らし会を開きました。生産者10人の他、青果卸売業者やJA職員など計15人が、出荷規格や品質を確認しました。

葉ニンニクは、ニンニクの成長過程に収穫し、若い葉と茎の部分を食べます。今年は植え付けが1〜2週間程遅れましたが、品質も出荷量も良好。10月下旬から受け入れを始め、3月下旬までに8000kgの出荷を予定しています。

3 れいほく地域

女性部ランチ会第2弾



しし汁をよそう女性部員

女性部れいほく地区の「牛のうどん屋さん」は11月8日、コロナ禍の影響を受ける地元農業の回復を目指して、土佐町で今年2回目となるランチ会を開きました。

ランチ会には、JA土佐くろしお女性部や地域の親子連れなど74人が参加。料理は、部員が栽培する嶺北産の四方竹やぜんまい、チャーテなどを使って計15品を調理。参加者は、「チャーテの漬物が美味しい」「ぜんまいとピーマンのきんぴらは、食感も色合いも抜群」と笑顔で箸を進めました。

6 れいほく地域

第2回 肉牛枝肉共励会



黒毛和種で最優秀を受賞したむらびと本舗さん

高知県広域食肉センターで11月16日、第2回（令和2年度）JA高知県肉牛枝肉共励会が開かれました。県内から黒毛10頭、褐毛11頭が出品され、最優秀賞には、黒毛和種で大川村の株式会社むらびと本舗さんが選ばれました。

審査委員長の豊田陽一（県畜産試験場長）は、「黒毛の最優秀はサシが充実してロース芯が大きい。バラの厚さも良く、全体的にバランスが良かった」と評しました。嶺北地域からは11頭が出品され、各々高値で取引されました。

4 南国市地域

ごとおち市へお買い物



選んだ食材をレジに運ぶ園児

直販所ごとおち市は11月26日、稲生保育園の5歳児14人を対象に買い物学習の場を開きました。園児は、持ちちのお小遣い300円以内で店内の旬の農産物や加工品の買い物を楽しみました。

同保育園では毎年、公共交通機関を使い、高知市の商店街へ買い物学習を行います。今年はコロナ禍を避けるため、徒歩で通える地元の直販所での学習になりました。

園児は、店内に並ぶミニトマトやリンゴ、ダイコンなどを手に取り、「ママ喜ぶかな」「あと100円買えるね」と先生や友達と買い物を楽しんでいました。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



空気が入らないように丸める生徒たち

1 南国市地域

高校生がみそづくり

組合員課は、南国市岡豊町のみそ加工所で11月上旬から毎年恒例のみそ加工を始めました。作業日ごとに加工所利用会員が加工所に集まり、管内で収穫された米を使って米麹をつくり、四万十町で作られた大豆や沖繩の塩などを使って仕込んでいきます。

11月13日には、食農教育として県立高知農業高校生活総合科2年生32人を招き、白みそづくり教室を開きました。同教室は、農業や食文化への理解を深め、米の消費拡大と後継者育成を図ろうと20年以上前から開催しています。

JA職員が作り方を指導した後、生徒はグループに分かれ、圧力釜で煮た大豆と米麹を混ぜ、機械でミンチ状にしたものを空気が入らないように丸め、樽に打ち付けながら詰めていきます。生徒は、「思ったより作業が大変」、「美味しくできるかな」と仲間と協力しながら作業に励みました。

今回作った白みそは、約3か月間熟成させた後、調理実習で使う他、各自持ち帰ります。



受け込み作業を行う職員

2 れいほく地域

嶺北産ゆず、豊作

れいほく柚子加工場は10月17日から、搾汁用ゆずの受け込みを始めました。最盛期の11月上旬は、生産者が日量約40tを持ち込み、職員が受け込み作業に追われました。

れいほく無農薬柚子部会は、山の傾斜を利用して生産者401人（昨年度出荷人数）のうち、ほとんどが無農薬栽培を行っています。今年は暖冬の影響や表年もあり豊作。例年より収量2〜3割増の1000tの出荷が予想されています。

同加工場では、ゆず玉の腐敗の有無を目視で確認。規格外を選別しながら搾汁機で果汁、皮、種に分別し、ジュースやジャムなどに加工後、都市部を中心に全国各地や、海外へも販売します。

ゆずは、ビタミンCやクエン酸を多く含み、レモンとは違う酸味が外国からも人気の果実です。アメリカやヨーロッパなどへ商談を行う同加工場の松繁淳二さんは「今年は豊作で受け込み量が去年よりも多い。香りが命の嶺北産ゆず果汁を多くの人に味わってほしいです」と話しました。

えいのう～

役立つ！
得する！
情報

れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 担当：小笠原 0887-82-2803

栽培終了時の病害対策

野菜栽培で多湿条件や連作の続くほ場では、黒枯病、斑点病、うどんこ病等が多く発生します。これらの病原菌は、土壌や資材等に付着することでほ場内に残り、発病条件が揃うと発芽・感染します。そこで栽培が終了した時点から、病原菌を残さない対策を実施しましょう。

①栽培終了時の薬剤防除

ほ場内の菌密度を低下させるため、栽培終了時には薬剤防除を行いましょう。ハウス栽培では、ビニールや番線にも菌が付着しているため、燻煙剤等を使用して殺菌しましょう。

②植物残渣の持ち出し

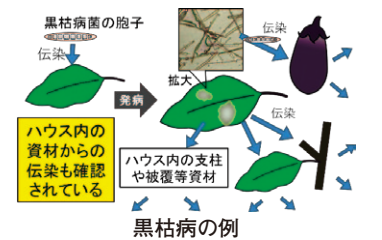
病斑の見える植物残渣は、ほ場から持ち出しましょう。土壌へのすき込みは、次作に菌を持ち越す原因となるので避けましょう。

③資材の洗浄

灌水チューブ、支柱、台車、コンテナ、ハサミ等、栽培期間中に使用した資材は洗浄しましょう。ケミクロンG等を用いて消毒することも効果的です。

④マルチ、ダクトなどの更新

マルチやダクトにも病原菌は付着しています。毎年新しいものを使うようにしましょう。



黒枯病の例

ユズの春肥

嶺北地域は令和2年産、表年となり前年を上回る出荷量となりました。これからの管理として春肥があります。春枝の充実及び幼果の発育を促進させることが目的で、根の活動が始まる2月上旬から3月上旬を目途に施用しましょう。

【嶺北地域の施肥基準（成木）】

施肥時期	肥料名	施用量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)		
			チッソ	リン酸	カリ
2月上旬	乾燥鶏糞	160	3.7	4.6	2.1
2月下旬～3月上旬	新ゆずの里※	120	18.0	12.0	15.6
10月中旬～下旬	燐硝安加里S604	60	9.6	6.0	8.4
合計			31.3	22.6	26.1

※新ゆずの里は2月下旬～3月上旬に施用すれば、10月中・下旬のお礼肥まで肥効のある肥料です。

GAP 掲示板 vol.10

今月の優良事例 れいほく地域

「農閑期における農業機械の保管」 (土佐町：シシトウ・水稻農家)

優良ポイント：

泥等の汚れを丁寧に洗い流し、冬場に使用しない機械類にはカバーをかけて保管している。



南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課

0881-86312415

露地青ネギ 冬場の管理



南国営農経済センター
営農指導課
吉川 悠也

◆追肥

第1回目の追肥は、定植後20日頃に10アールあたり化成肥料（園芸化成S550など）20kg程度を目安として施用します。第2回目の追肥は、ネギの生育状況を見ながら収穫の20日前頃に施用します。なお、ネギは濃度障害に弱く、過剰な施肥は病害や品質低下を招くので注意しましょう。

◆灌水

降雨が少なく、乾燥が続く場合は発育が悪くなるので灌水をするか、畦又は通路に水を通して適当な湿度を保たして下さい。乾燥は葉先枯れ、過剰な灌水は葉折れや倒伏の原因となるため注意して下さい。

◆防寒対策

気温が4℃を下回ると霜がおりやすくなりますので、低温対策のために寒冷紗などで被覆します。厳寒期は保温のために農ポリで被覆する場合もありますが、その際はトンネル内が多湿にならないように適宜換気に努めます。

◆病害虫

冬場は夏場に比べて病害虫が少ないものの、アザミウマ類や、灰色カビ病、白色疫病の被害が起こります。特にトンネル被覆時はトンネル内の温湿度上昇、及びそれに伴う病害虫の発生に注意しましょう。

ニラの定植準備

◆土づくり

土づくりとして、有機物（ケイントップなど）を10アール当たり800kg程度と苦土石灰を播種予定の1ヶ月前までに施用します。有機物を2度に多量施用すると、白絹病の発生などを助長するので注意します。なお、苦土石灰については土壤分析の診断結果に基づき施用量を決定し、pHが6.0～6.5になるよう矯正します。pHが7.0以上（アルカリ性）、5.0以下（強酸性）では生育障害や生理障害が起こりやすくなってしまう。

pH	壤土
5.0未満	300～200kg
5.9～5.9	200～100kg
6.0～6.5	80kg

pH矯正における苦土石灰施用の目安/10アール当たり

◆元肥

定植の10日前には施用・耕運します。



南国営農経済センター
営農指導課
近澤 慶哉

肥料名	施用量 (kg)	成分量		
		N	P	K
アヅミン苦土石灰	pHに合わせて調整			
粒状ゼオライト	200			
マルチサポート1号	60			
エコスマイル(14-5-6)	250	35	12.5	15

10アール当たり設計施用（例）

◆畝立て

畝作り前に土壌が乾燥していれば、水をかけて適湿で耕運・畝立てを行います。湿害を受けやすい為、畝は高く作り排水対策をしっかりします。また、畝の表面が平らでない場合、灌水時のむらなどにより、生育むらができるので、できるだけ平らに均します。

◆マルチング

マルチの穴が畝の肩から落ちないよう余裕を持った畝を作り、白黒マルチを被覆します。白黒マルチは地温抑制、雑草抑制効果があるので、定植後も張りつばなしとします。

農産物栽培 講習会のご案内

家庭菜園向け初心者対象の講習会として開催しております。直販等に出荷されない方もお気軽にご参加ください。

日時内容

令和3年2月17日（水）
13時30分～15時20分

●エダマメ

13時30分～14時

●スイートコーン

14時10分～14時40分

●オクラ

14時50分～15時20分

場所

JA高知県南国営農経済センター2階
（南国市上野田303-1）

講師

JA営農指導課職員

※参加ご希望の方は2月16日（火）までに、JA高知県南国営農経済センター営農指導課（0881-86312415）まで連絡をお願いします。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「かざぐるま市」3月に来店者累計500万人達成素晴らしいですね。私も利用させてもらっています。これからも頑張ってください。おめでとございます！

（大篠支所・73歳）

▼いつもご利用いただき、ありがとうございます。これからも皆様に喜んでいただけるよう、頑張っていきます。

鍋料理の美味しい季節になりました。色々な味を楽しみたいです。

（十市支所・62歳）

▼JA高知県のれいほく柚子商品の一つ、「郷のゆず ぼん酢しょうゆ」が鍋料理にお勧めです。ゆずの果汁がしっかりと香るので、さっぱりいただけますよ！

花をつくる新人さん、応援します。

（岡豊支所・65歳）

▼JRの運転手から花卉農家になった畠山さん、とても明るく前向きな方でした。新規就農者の活躍をこれからも誌面で紹介していきます！

（長岡支所・63歳）

▼シンプルな味付けが、よりシヨウガの香りや味を楽しめますね！

直販所マニアでコロナ禍になる前は色々な直販所巡りをしていました。なかなか行けなくなつた今、こうぐりの誌面で行った気分を味わわせてもらっています。早くコロナが落ち着くといいなと思う今日この頃です。

（南国中央支所・33歳）

▼その地域ならではの旬の農産物や加工品が楽しめますよね。コロナ禍ではありますが、南国市の直販所4店を対象にスタンブラリーを実施しています。豪華賞品もありますので、地元の直販所にぜひお越しください！

男子、厨房に入るべし！大賛成です。特に高知県は共働きが多いと思うので、お手伝いじゃなく、率先してお願いしたいですね。

（日章支所・59歳）

▼料理ができる男性は素敵ですね。男性も女性も料理が楽しめるよう、「こうぐり」でも様々な調理法を紹介していきます。

高知県全体の広報誌になりましたが、毎回何かしら知っている方や記事が載っていて、届くのが楽しみです。最終ページのクイズを解くのも、快感です。解くだけで終わりましたが、今回初めて応募します。

（れいほく支所・53歳）

▼毎月お読み頂き、ありがとうございます。各地域の特産品が当たるチャンスなので、ぜひまたご応募ください！



育苗センターアルバイト募集

内 容 水稻苗の出荷、播種作業など

作業期間 2月から3月下旬頃まで **募集人数** 若干名

※勤務時間、時給などは下記連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先 (株)南国スタイル（担当：後藤）
(TEL：088-855-3179)

田村堰井筋関係水系の春期水止め

水止め期間 令和3年3月3日（水）8時～
令和3年3月9日（火）17時

水止め水路 「物部川統合堰」系統の各土地改良区
（田村堰井筋、物部堰井筋、久枝）全水系

お問い合わせ先 物部川（連）土地改良区
(TEL：0887-55-2216)

新発売！ JA 高知県れいほく柚子商品 ゆずごまドレッシング

ゆずの香りとゴマの風味がしっかり残る人気ドレッシングです。野菜サラダはもちろん、豆腐やしゃぶしゃぶとも相性抜群ですのでぜひ、お試しください！

内容量 200ml

発売予定店

とさのさと、かざぐるま市、
風の市

お問い合わせ先

高知県農業協同組合
れいほく柚子加工場
(TEL：0887-73-0080)

